

## 第134回日商2級総評

	出題論点	ネットスクール出題予想
第1問	①備品の買い替え ②委託販売(荷為替取組) ③社債の買入償還 ④商品保証引当金 ⑤自己受け為替手形の振出し	①第2予想的中 ②外しました。ごめんなさい。 ③ラスパカード問22 ④ラスパカード問17 ⑤外しました。ごめんなさい。
第2問	銀行勘定調整表	外しました。ごめんなさい。
第3問	精算表	第2予想的中
第4問	製造原価報告書・損益計算書	第2予想やや的中
第5問	直接原価計算	ウラ予想的中

予想合格率 … 25 %



第134回簿記検定試験解答速報

2 級 ①

商 業 簿 記

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	減価償却費	50,000	備品	150,000
	備品	250,000	未払金	170,000
	固定資産売却損	20,000		
2	積送品	308,000	仕入	300,000
			現金	8,000
	当座預金	199,200	前受金	200,000
	手形売却損	800		
3	社債	9,820,000	当座預金	9,775,000
			社債償還益	45,000
4	商品保証引当金	80,000	現金	80,000
5	受取手形	1,300,000	売上	1,300,000

予想配点：仕訳1組につき4点。合計20点。

第134回簿記検定試験解答速報

2級②

商業簿記

第2問 (20点)

(1)

銀行勘定調整表

平成〇年3月31日

当座預金勘定の残高		(	259,700	)
(加算)	[ ① ]	(	20,000	)
	[ ③ ]	(	16,000	)
(減算)	[ ② ]	(	22,000	)
	[ ④ ]	(	18,500	)
銀行残高証明書の残高		(	255,200	)

※ [ ] には、資料Ⅱにおける番号①～④を記入しなさい。

( ) には、金額を記入しなさい。

予想配点：        につき2点。計8点。

(2) 資料Ⅱ

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	22,000	当座預金	22,000
当座預金	16,000	未払金	16,000

資料Ⅲ

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	6,000	受取配当金	6,000
雑損	500	現金	500

※決算整理仕訳は、各行に1組ずつ記入しなさい。

予想配点：仕訳1行1組につき2点。計8点。

(3)

現金	当座預金
173,300	253,700

予想配点：1つにつき2点。計4点。

第134回簿記検定試験解答速報

2 級 ③

商業簿記

第3問 (20点)

精算表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	19,300						19,300	
当座預金	32,700						32,700	
受取手形	416,800						416,800	
売掛金	327,200						327,200	
繰越商品	384,000		450,000	384,000			400,200	
				36,000				
				13,800				
建物	900,000		1,800,000				2,700,000	
備品	300,000						300,000	
建設仮勘定	1,000,000			1,000,000				
のれん	240,000			30,000			210,000	
支払手形		367,900						367,900
買掛金		382,300						382,300
保証債務		3,000	3,000					
貸倒引当金		8,500		6,380				14,880
建物減価償却累計額		324,000		45,500				369,500
備品減価償却累計額		100,000		50,000				150,000
資本金		1,500,000						1,500,000
利益準備金		250,000						250,000
繰越利益剰余金		363,300						363,300
売上		4,173,000				4,173,000		
受取家賃		525,000	225,000			300,000		
仕入	3,195,000			3,195,000				
給料	839,000				839,000			
支払保険料	340,000			100,000	240,000			
保証債務費用	3,000				3,000			
	7,997,000	7,997,000						
保証債務取崩益 (未払金)				3,000		3,000		
				800,000				800,000
売上原価			384,000	450,000	3,129,000			
			3,195,000					
商品評価損			13,800		13,800			
棚卸減耗損			36,000		36,000			
貸倒引当金(繰入)			6,380		6,380			
減価償却費			95,500		95,500			
売上割戻引当金繰入			62,595		62,595			
売上割戻引当金				62,595				62,595
のれん償却額			30,000		30,000			
(前受)家賃				225,000				225,000
(前払)保険料			100,000				100,000	
当期純(利益)					20,725			20,725
			6,401,275	6,401,275	4,476,000	4,476,000	4,506,200	4,506,200

予想配点： 1つにつき2点。合計20点。

第134回簿記検定試験解答速報

2級④

工業簿記

第4問 (20点)

製造原価報告書

(単位：円)

I 直接材料費			
月初棚卸高	(	4,760,000	)
当月仕入高	(	8,700,000	)
合計	(	13,460,000	)
月末棚卸高	(	4,700,000	)
II 直接労務費			(
III 製造間接費			(
間接材料費	(	431,000	)
間接労務費	(	1,160,800	)
電力料金	(	195,000	)
保険料	(	410,000	)
減価償却費	(	1,850,000	)
水道料金	(	123,000	)
合計	(	4,169,800	)
製造間接費配賦差異	(	87,400	)
当月製造費用			(
月初仕掛品原価			(
合計			(
月末仕掛品原価			(
当月製品製造原価			(

損益計算書

(単位：円)

I 売上高			42,580,000
II 売上原価			
月初製品有高	(	2,416,000	)
当月製品製造原価	(	17,252,400	)
合計	(	19,668,400	)
月末製品有高	(	2,524,000	)
原価差異	(	87,400	)
売上総利益			(

(以下略)

予想配点： 1つにつき2点。合計20点。

第5問 (20点)

直接原価計算による損益計算書では、売上高から変動費を控除して(① 貢献利益)を計算し、さらに固定費を控除して営業利益を計算する。第1期の①は(② 1,100,000)円、営業利益は(③ 220,000)円である。一方、全部原価計算によると、第1期の売上総利益は(④ 700,000)円、営業利益は直接原価計算と同じである。

第2期の営業利益は、直接原価計算によると(⑤ 110,000)円、全部原価計算によると(⑥ 260,000)円である。この営業利益の差は、全部原価計算において期末棚卸資産に含まれる(⑦ 固定製造間接費)の分である。

仮に、第2期の製品生産量を3,000個とすると、期末製品在庫量は(⑧ 1,200)個に増える。このときの営業利益は、直接原価計算によると(⑨ 110,000)円、全部原価計算によると(⑩ 350,000)円になる。

1つにつき2点。合計20点。